

平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

【1枚目】

|                   |              |                     |              |          |           |          |  |  |  |  |  |
|-------------------|--------------|---------------------|--------------|----------|-----------|----------|--|--|--|--|--|
| 事 業 コ 一 ド         | 72220002     |                     |              |          |           |          |  |  |  |  |  |
| 事 業 事 業 名         | 資源物収集運搬管理    |                     |              |          |           |          |  |  |  |  |  |
| 予 算 書 の 事 業 名     | 資源物収集運搬管理    |                     |              |          |           |          |  |  |  |  |  |
| 事 業 期 間           | 開始年度         | 平成11年               | 終了年度         | 当面継続     | 業務分類      | 5. ソフト事業 |  |  |  |  |  |
| 実施計画(H25~H27)への記載 | 有 (一般)       | 実施計画(H26~H28)における区分 |              |          | 一般・継続・変更有 |          |  |  |  |  |  |
| 実 施 方 法           | ○ 1. 指定管理者代行 | ○ 2. アウトソーシング       | ○ 3. 負担金・補助金 | ● 4. 市直営 |           |          |  |  |  |  |  |

|           |              |          |
|-----------|--------------|----------|
| 部・課・係名等   | コード 1        | 02050200 |
| 部 名 等     | 民生部          |          |
| 課 名 等     | 環境安全課        |          |
| 係 名 等     | 生活安全係        |          |
| 記 入 者 氏 名 | 杉本 憲一        |          |
| 電 話 番 号   | 0765-23-1048 |          |

|            |                     |        |
|------------|---------------------|--------|
| 政策体系上の位置付け | コード 2               | 722002 |
| 政 策 の 柱    | 基 5 豊かな自然と共生したまちづくり |        |
| 政 策 名      | 2 脱温暖化・循環型社会の構築     |        |
| 施 策 名      | 2. 廃棄物の抑制とリサイクルの推進  |        |
| 区 分        | なし                  |        |
| 基 本 事 業 名  | リサイクルの推進            |        |

|      |          |           |
|------|----------|-----------|
| 予算科目 | コード 3    | 001040201 |
| 会計   | 一般会計     |           |
| 款    | 4. 衛生費   |           |
| 項    | 2. 清掃費   |           |
| 目    | 1. 塵芥処理費 |           |

◆事業概要 (どのような事業か)

容器包装リサイクル法に基づき、ごみの分別を市民に依頼しており、地区資源物ステーションや常設資源物ステーションに出された資源物については、委託業者により収集運搬、中間処理、保管業務が行われ、ごみの減量化や資源化がされている。また、民間が設置した常設資源物ステーションの維持管理費を負担している。

<この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など>  
地区・常設資源物ステーションに出された資源物 (ビン・缶、ペットボトル等)  
常設資源物ステーション

対象

<平成24年度における事業見直しの有無>

見直し有

<平成24年度の活動及び見直し内容>  
清掃公社敷地内の「使用済小型家電等回収施設」の設置をH23年度に実施し完了した。

手段

<平成25年度の主な活動内容>

- ・地区・常設資源物ステーションに出された資源物の収集運搬、中間処理
- ・常設資源物ステーションの管理 (※H25常設資源ステーションの新設 加積地内)
- ・不適正排出があった際の、市民等に対する指導

意図

<この事務事業によって、対象をどのように変えるのか>  
地区・常設資源物ステーションの出された資源物を適正に収集運搬、中間処理、保管。

常設資源物ステーションの合理的な維持管理。

その結果

<施策の目指すがた>

市民のごみ問題に対する意識が高まり、減量化、リサイクルの取組みが進み、ごみが減少しています。

◆この事務事業開始のきっかけとこれまでの事務事業見直しの経緯

平成7年施行「容器包装リサイクル法」に基づく事業実施

H7.4 指定有料ゴミ袋の開始

・ビン、スチール缶の回収を開始

H11.4 アルミ缶の回収を開始

H14～ 常設資源物ステーションの設置 (H24.3現在5箇所)

H15.4 容器包装リサイクル法による分別収集を完全実施

◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化 (法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)

容器包装リサイクル法に伴う対象資源物が見直されている。(増加) また、法律が改正され生産者責任が問われている。

◆市民や議会などからの要望・意見 (担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)

- ・市民のリサイクル意識が高まってきており、市民から資源物に対する問い合わせが多い。
- ・議会において、資源物に対する市の施策への質問等がある。

◆県内他市の実施状況

○ 把握している

● 把握していない

◆市民と行政の協働状況

● 協働している

○ 協働可能だが未実施

○ 協働になじまない

◆把握している内容又は把握していない理由の記入欄

→ 自治体によって、対象品目、収集体制が異なるため比較に適さない。

◆選択した協働状況の内容又は理由の記入欄

→ 市民による資源物分別、STへの搬出

・スーパー等の拠点回収施設の設置、維持管理

◆実施計画への記載予定事業内容

H26 分別資源物の収集運搬中間処理・保管

H27 分別資源物の収集運搬中間処理・保管

H28 分別資源物の収集運搬中間処理・保管

◆上段・計画:下段・実績

→ 上段:23年度 下段:24年度

◆計画

→ 25年度 26年度 27年度 28年度

◆実施計画への記載予定事業内容

→ ① 地区資源物ステーションの数

→ ② 常設資源物STの数

→ ③ 拠点回収施設の数

→ ① 資源物の収集量

→ ②

→ ③

→ ① 資源リサイクル率

→ ②

→ ③

↑成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入

◆費 用

→ 実 績

→ 計 画

→ 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度

→ (1)国・県支出金 (千円)

→ (2)地方債 (千円)

→ (3)その他(使用料・手数料等) (千円)

→ (4)一般財源 (千円)

→ 予算(決算)額((1)～(4)の合計) (千円)

→ (1)需用費 (千円)

→ (2)委託料 (千円)

→ (3)工事請負費 (千円)

→ (4)負担金補助及び交付金 (千円)

→ (5)その他 (千円)

→ A. 予算(決算)額((1)～(5)の合計) (千円)

→ ①事務事業に携わる正規職員数 (人)

→ ②事務事業の年間所要時間 (時間)

→ B. 人件費 (×人件費単価/千円)

→ 事務事業に係る総費用 (A+B) (千円)

→ (参考) 人件費単価 (円@時間)

→ 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 7,130 6,936 3,628 3,500 3,500 3,500

→ 14,923 17,015 21,605 21,300 21,300 21,300

→ 22,553 23,951 25,233 24,800 24,800 24,800

→ 376 459 474 470 470 470

→ 22,177 23,492 24,759 24,330 24,330 24,330

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 2 2 2 2 2 2

→ 780 800 850 800 800 800

→ 3,382 3,519 3,740 3,520 3,520 3,520

→ 25,935 27,470 28,973 28,320 28,320 28,320

→ 4,336 4,399 4,400 4,400 4,400 4,400

→ 13.00 13.00 13.00 14.00 15.00 16.00

→ 12.29 12.41 12.41 12.41 12.41 12.41

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

→ 0 0 0 0 0 0

# 平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

【2枚目】

## 【目的妥当性の評価】

|   |   |
|---|---|
| 1. 基本事業との直結度 (事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結しているか、その理由も記載) |   |
| ● 直結度大<br>○ 直結度中<br>○ 直結度小                          | ごみとして排出されている資源物を適切に収集・運搬・回収することは、ごみの減量化や資源のリサイクルが進むことに直結する。 |

## 2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)

|   |
|---|
| ● 法令などにより市による実施が義務付けられている   |
| ○ 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間（市民・企業等）によるサービスの実施が不可能（又は困難）なため、市による実施が妥当 |
| ○ 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当                                   |
| ○ 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小（廃止）が妥当                                 |
| ○ 既に目的を達成しているので、市の関与を廃止が妥当  |

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 根拠法令等を記入<br>容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）（平成7年法律第112号）<br>第8条 | 事務の区分 | 自治事務 |
|---|-------|------|

## 3. 目的見直しの余地（現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合その理由と内容を説明、できない理由も説明）

|    |    |                          |
|----|----|--------------------------|
| なし | 説明 | 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。 |
|----|----|--------------------------|

## 【有効性の評価】

|  |   |
|--|---|
| 4. 成果向上の余地（成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理由も説明）※成果指標の計画と実績との比較に基づき記入 |   |
| あり   | 説明<br>未だ資源物がごみとして排出されており、啓発活動に努めることにより市民意識の向上を図り、資源物の回収量を増やすことが可能である。 |

|  |   |
|--|---|
| 5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無（どう効果が高まるか説明、できない理由も説明） |   |
| なし   | 説明<br>連携することで、今より効果が高まる可能性がある他の事務事業はない。 |

## 【効率性の評価】

|  |  |
|--|--|
| 6. 事業費の削減の余地（手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明） |  |
| なし   | 説明<br>資源物の量が増えてくれれば、それにかかる収集・運搬・中間処理費用も増加する。 |

|   |   |
|---|---|
| 7. 人件費の削減の余地（今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明） |   |
| なし  | 説明<br>人員は必要最低限度であり、資源化の推進など積極的な啓発活動を行うには、むしろ増員させる必要がある。 |

## 【公平性の評価】

|                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 8. 受益機会の適正化の余地（受益の機会が偏っていて不公平でないか） |                                 |
| なし                                 | 説明<br>市民全体を対象にして行っており、特別受益者はない。 |

|                                  |                                 |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 9. 受益者負担の適正化の余地（県内他市と比較し、適正な水準か） |                                 |
| 平均                               | 説明<br>市民全体を対象にして行っており、特別受益者はない。 |

## ★ 評価結果の総括と今後の方向性

|                      |      |
|----------------------|------|
| (1) 評価結果の総括          |      |
| ① 目的妥当性              | ● 適切 |
| ② 有効性                | ○ 適切 |
| ③ 効率性                | ● 適切 |
| ④ 公公平性               | ● 適切 |
| (2) 今後の事務事業の方向性      |      |
| ○ 現状のまま（又は計画どおり）継続実施 | 年度   |
| ○ 終了                 | ○ 廃止 |
| ○ 他の事務事業と統合又は連携      |      |
| ○ 目的見直し              |      |
| ● 事務事業のやり方改善         |      |

## ★改革・改善案（いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか）

|       |             |   |            |
|-------|-------------|---|------------|
| 実施予定期 | 平成26年度      | 環境保健衛生協会等による啓発活動に努め、市民意識の向上を図る。<br>常設資源物ステーションの増設。              | コストと成果の方向性 |
|       | 中・長期的（～5年間） | 環境保健衛生協会等による啓発活動に努め、市民意識の向上を図る。<br>常設資源物ステーションの適切配置について調査し増設する。 | 成果の方向性     |

## ★一次評価（課長総括評価）

|  |         |
|--|---------|
| ・ごみを地区資源物ステーションや常設資源物ステーションに排出する際、市民に分別を依頼しており、ごみの減量化や資源化がされている。また、市民から資源物に対する問い合わせが多く、市民のリサイクル意識も高まっている。排出された資源ごみは、委託業者により収集運搬、中間処理、保管業務が行われ、回収量は増加傾向にあることから、今後もその状況を見ながら資源物ステーション等の増設も検討する必要がある。 | 二次評価の要否 |
|  | 不要      |

## ★二次評価（経営戦略会議・部会）

|  |
|--|
|  |
|--|

平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

## 【1枚目】

|                   |                                  |                                   |   |                              |            |              |        |          |          |           |
|-------------------|----------------------------------|-----------------------------------|---|------------------------------|------------|--------------|--------|----------|----------|-----------|
| 事業コード             | 72220001                         | 部・課・係名等                           | コード1  | 02050200                     | 政策体系上の位置付け | コード2         | 722002 | 予算科目     | コード3     | 001040201 |
| 事務事業名             | 資源物集団回収推進事業                      | 部名等                               | 民生部   |                              |            |              |        | 会計       | 一般会計     |           |
| 予算書の事業名           | 資源物集団回収推進事業                      | 課名等                               | 環境安全課                                       |                              |            |              |        | 款        | 4. 衛生費   |           |
| 事業期間              | 開始年度                             | 平成7年                              | 終了年度  | 当面継続                         | 業務分類       | 4. 負担金・補助金   |        | 項        | 2. 清掃費   |           |
| 実施計画(H25～H27)への記載 | 無                                | 実施計画(H26～H28)における区分               | 実施計画書に記載しない                                 |                              |            |              |        | 目        | 1. 塵芥処理費 |           |
| 実施方法              | <input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 | <input type="radio"/> 2. アウトソーシング | <input checked="" type="radio"/> 3. 負担金・補助金 | <input type="radio"/> 4. 市直営 | 電話番号       | 0765-23-1048 | 基本事業名  | リサイクルの推進 |          |           |

# 平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

【2枚目】

## 【目的妥当性の評価】

|   |       |                       |
|---|-------|-----------------------|
| 1. 基本事業との直結度 (事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結しているか、その理由も記載)   |       |                       |
| <input type="radio"/> 直結度大<br><input checked="" type="radio"/> 直結度中<br><input type="radio"/> 直結度小<br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">説明</span><br>市のごみ問題に対する意識が高まり、減量化やリサイクルの促進につながる。  |       |                       |
| 2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)   |       |                       |
| <input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている<br><input checked="" type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間（市民・企業等）によるサービスの実施が不可能（又は困難）なため、市による実施が妥当<br><input type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当<br><input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小（廃止）が妥当<br><input type="radio"/> 既に目的を達成しているので、市の関与を廃止が妥当 |       |                       |
| 根拠法令等を記入  | 事務の区分 | 自治事務                  |
| 3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合その理由と内容を説明、できない理由も説明)   |       |                       |
| なし  | 説明    | 対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。 |

## 【有効性の評価】

|   |    |   |
|---|----|---|
| 4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理由も説明) ※成果指標の計画と実績との比較に基づき記入    |    |   |
| あり  | 説明 | 集団回収に取り組む団体数は横ばい状態であり、報奨金を増額することで活動の拡大、増加は見込める。 |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成果実績</span> 中位 |    |   |
| 5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明、できない理由も説明)         |    |   |
| なし  | 説明 | 連携することで、今より効果が高まる可能性がある他の事務事業はない。               |

## 【効率性の評価】

|   |    |   |
|---|----|---|
| 6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明) |    |   |
| なし  | 説明 | <ul style="list-style-type: none"> <li>報奨金の単価の減額により、実施団体が減少してきたこともあり、これ以上の減額は難しい。</li> <li>資源物排出量の割合は、常設資源物ステーションの割合が増加しているが、資源回収団体による回収量も多くあり、報奨金の適正な額について幅広い観点から検討する必要がある。</li> </ul> |
| 7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)    |    |   |
| なし  | 説明 | 必要最小限の業務時間であり、削減の余地なし。  |

## 【公平性の評価】

|                                     |    |                    |
|-------------------------------------|----|--------------------|
| 8. 受益機会の適正化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか) |    |                    |
| なし                                  | 説明 | 補助金交付事業であり、負担金はない。 |
| 9. 受益者負担の適正化の余地 (県内他市と比較し、適正な水準か)   |    |                    |
| 対象外                                 | 説明 |                    |

## ★ 評価結果の総括と今後の方向性

|   |      |                  |
|---|------|------------------|
| (1) 評価結果の総括   |      |                  |
| ① 目的妥当性   | ● 適切 | ○ 目的廃止又は再設定の余地あり |
| ② 有効性   | ○ 適切 | ● 成果向上の余地あり      |
| ③ 効率性   | ● 適切 | ○ コスト削減の余地あり     |
| ④ 公公平性  | ● 適切 | ○ 受益者負担の適正化の余地あり |
| (2) 今後の事務事業の方向性   |      |                  |
| <input type="radio"/> 現状のまま（又は計画どおり）継続実施<br><input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止<br><input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携<br><input type="radio"/> 目的見直し<br><input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善 |      | 年度               |

## ★改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)

|             |   |         |            |
|-------------|---|---------|------------|
| 実施予定期       | 平成26年度  | 現状維持    | コストと成果の方向性 |
|             |   |         | 維持         |
| 中・長期的（～5年間） | 集団回収に取り組む団体数、回収量が横ばいであること、常設資源物ステーションにおける回収量が拡大傾向にあることを踏まえると、実施方法、事業継続等を再検討する必要がある。 | コストの方向性 |            |
|             |   | 成果の方向性  |            |
|             |   | 向上      |            |

## ★一次評価 (課長総括評価)

|  |  |         |
|--|--|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化及び資源化を推進するため、資源回収団体へ報奨金を支払ってきているが、集団回収に取り組む団体数は横ばい状態であり、報奨金を増額すれば活動の拡大・増加は見込めることから、単価について検討が必要である。</li> </ul> |  | 二次評価の要否 |
|  |  | 不要      |

## ★二次評価 (経営戦略会議・部会)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|